

# タブレットを活用した授業実践

## 1年B組社会（地理的分野）

単元名は「多文化主義の社会をみざして オーストラリアとニュージーランド」です。グレートバリアリーフやエアーズロックなど、オーストラリアの写真を、タブレットを液晶テレビにつないで、表示しながら、学習への意識付けを行っていました。



写真表示はパソコンや実物投影機でも可能ですが、タブレットのメリットとして、タブレット画面上で拡大縮小（ピンチイン・ピンチアウト）が可能なのが挙げられます。拡大して強調したい部分をおの場で拡大することは、実物投影機ではできませんし（ひと手間かかります）、タッチパネルではないパソコンでは、マウスを操作してなどのこれもひと手間かかります。

タブレットは、必要な時に速やかに教材を提示し、さらには拡大等で強調できることが、機能として一番使いやすいと思います。教材の効果的な提示によって、生徒の理解を深めることが可能であれば、授業の導入の5～10分のみでも使ってみる価値はあると考えます。

